

JA 仙台 稲作情報 第 2 号

現在の水稻生育については、6 月上旬は平年を気温で経過しましたが、中旬から高温・多照で経過しており平年を上回り遅れていた生育も分けつが促され平年並みに回復しております。

1) 生育調査結果 (6/20 現在)

() 内平年比較値

地点	品種	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本／株)	葉色 (GM 値)	調査機関
仙台市	ひとめぼれ	5/22	33.7 (87%)	16.5 (73%)	41.9 (-0.9)	仙台農改
		5/5	42.9 (116%)	28.9 (111%)	42.5 (-0.1)	JA 調査圃
名取市		5/18	36.7 (106%)	15.9 (91%)	44.1 (0.9)	亶理農改
		5/4	48.7 (124%)	34.3 (132%)	35.6 (-6.8)	JA 調査圃
亶理町		5/11	40.5 (103%)	20.0 (77%)	41.7 (-0.7)	JA 調査圃
山元町		5/18	33.7 (96%)	17.9 (112%)	44.8 (0.8)	亶理農改
岩沼市	つや姫	5/15	43.6 (118%)	21.9 (107%)	46.0 (-0.4)	亶理農改
亶理町	だて正夢	5/7	47.3 (95%)	22.9 (99%)	46.0 (-0.3)	亶理農改

2) 今後の栽培管理

○分けつを促すために低温の恐れがない場合は 2～3 cm の浅水管理とし有効茎数を確保します。

有効茎数確保期（6 月 20 日頃）の目標

60 株/坪植えの場合

ひとめぼれ 320～360 本/m² (1 株当たり 21～24 本)

つや姫 320～350 本/m² (1 株当たり 21～23 本)

だて正夢 280～320 本/m² (1 株当たり 18～21 本)

○有効茎確保後は土中に酸素を供給し根の健全化を図るため中干管理の時期となりますので 7 日～10 日間程度を目安に実施してください。（完全に割れするような強めの落水ではなく表面に軽くヒビが入る程度でよい）中干期間終了後は走水より入水し飽水管理とし、間断灌漑を実施してください。（足跡に水が沁み出してくる程度）

○平年の幼穂形成期は 7 月 9 日頃ですが、水不足にならないように管理しましょう。

3) 低温時には深水管理

○平均気温 14℃以下になる場合は水深 5～6cm の深水管理としましょう。

病虫害防除

○今年もカメムシ類の吸汁被害による斑点米の発生が懸念されております。カメムシ類は水田周辺の畦畔・堤防・牧草地等のイネ科雑草で増殖し、発生量は年々増加傾向にあります。

被害を最大限軽減するには水田内の雑草(イヌホタルイやヒエ)の除草と水田周辺の草刈を徹底し、出穂の 14 日前までに草刈を終了するようにして下さい。

又、必要に応じて薬剤散布による補完防除を実施して下さい。

○いもち病蔓延防止のため残苗は水田内に放置せず撤去をお願いします。6 月 11 日頃にいもち病発生好適日がありましたので、水田をよく観察してください。

※ 散布農薬については最寄りの営農センターへお問い合わせください。

○環境保全米栽培に取り組まれている方で病虫害・追肥等を実施する場合は、最寄の営農センター等にご相談下さい。規定以上の肥料・農薬を施用した圃場は、慣行栽培となりますので注意して下さい。